シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語ＩA		
必修選択	選択	（学則表記）	英語ＩA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	保育の英会話 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	園生活で英語が必要とされることがあるため、英語での対応が必要になった時に役立てることができるように 練習を十分取り入れ、文法力・単語力および基礎的な会話力を修得する		
到達目標	外国人の子どもや保護者が入園した際に役立つ英語や、園生活等で必要とする文法・単語・熟語を理解し 基本的な会話をすることができる		
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	英語ＩB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高松　秀幸	実務経験	○
実務内容	福岡県内の幼稚園にて園長として勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	保育の英会話への第一歩	【第1講】英会話の楽しさについて Unit 1: First Step to Childcare English
3	みなと保育園にようこそ	【第2講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 2: Welcome to Minato Nursery School
4	時間と数	【第3講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 3: Time and Numbers

5	地図と道案内	【第4講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 4: Directions
6	クラスメイトとの出会い	【第5講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 5: Davy Meets His Classmate Takashi
7	デイヴィーの登園と降園	【第6講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 6: Dropping Davy Off and Picking Him Up
8	保育者の仕事	【第7講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 7: Jobs at Nursery School
9	保育者の仕事	【第7講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 7: Jobs at Nursery School
10	昼食	【第8講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 8: Lunchtime
11	昼食	【第8講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 8: Lunchtime
12	排泄に関する会話	【第9講】状況に応じたコミュニケーションを学ぶ。 Unit 9: Toilet Dialog
13	けんか	【第10講】状況に応じたコミュニケーションを学ぶ。 Unit 10: Fighting
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語ⅠB		
必修選択	選択	（学則表記）	英語ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	保育の英会話 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	テキストにある「英語ミニ知識」「保育ミニ知識」を活用し 英語の常識や他国の習慣にも目を向け、国際感覚を養い、英語が高まる学習をする		
到達目標	園生活で必要とする英会話を使ってコミュニケーションを取ることができる		
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	英語ⅠA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高松　秀幸	実務経験	○
実務内容	福岡県内の幼稚園にて園長として勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	けがと病気	【第11講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 11: Injuries and Illnesses
3	けがと病気	【第11講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 11: Injuries and Illnesses
4	電話での対応	【第12講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 12: Telephone Calls

5	遠足	【第13講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 13: Field Trip
6	赤ちゃんのケア	【第14講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 14: Baby Care
7	赤ちゃんのケア	【第14講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 14: Baby Care
8	卒園	【第15講】状況に応じたコミュニケーションについて Unit 15 Graduation Day
9	修得確認	テストの実施
10	修得確認	テストの実施
11	総まとめ	第1～5講のまとめ
12	総まとめ	第6～10講のまとめ
13	総まとめ	第11～15講のまとめ
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保育原理A		
必修選択	選択	（学則表記）	保育原理A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	① 生活事例からはじめる保育原理 第5版 ②幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本 ③学習の手引き		出版社	①青踏社 ②チャイルド社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	「保育」について様々な視点から考えていく。「子ども理解」を基盤に保育者に求められる専門性について理解し、保育の目的・目標や保育の制度・歴史、保育の内容、保育の計画等、実践者として必要な知識や考え方を学んでいく
到達目標	保育の歴史と変遷を知り、子どもの発達や生活や遊びについて述べることができる 保育実践の事例を拾い、他の人と共有できるように書くことができる
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	保育原理B/保育者論A・B/乳児保育A・B/保育カリキュラム論A・B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	保育を学ぶということ	「保育」について
3	保育を学ぶということ	「保育」について

4	子ども理解	子どもについて
5	子ども観・保育観	日本の保育思想について
6	子ども観・保育観	日本の保育思想について
7	保育の理念を支える法規	保育の理念を支える法規について
8	幼稚園・保育所・ 認定こども園の制度と機能	幼稚園・保育所・認定こども園の制度と機能について
9	幼稚園・保育所・ 認定こども園の制度と機能	幼稚園・保育所・認定こども園の制度と機能について
10	保育の目標と内容	保育の目標と内容について
11	保育の目標と内容	保育の目標と内容について
12	保育の内容	「領域」の考え方について
13	保育の内容	幼稚園教育要領における保育内容について
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保育原理B		
必修選択	選択	（学則表記）	保育原理B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	① 生活事例からはじめる保育原理 第5版 ②幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本 ③学習の手引き		出版社	①青踏社 ②チャイルド社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	「保育」について様々な視点から考えていく。「子ども理解」を基盤に保育者に求められる専門性について理解し、保育の目的・目標や保育の制度・歴史、保育の内容、保育の計画等、実践者として必要な知識や考え方を学んでいく。		
到達目標	保育者に求められる専門性について、保育の現状と課題について述べることができる		
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	保育原理A/保育者論A・B/乳児保育A・B/保育カリキュラム論A・B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	片渕　祐海	実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	保育の計画と評価	保育の計画と評価について
3	保育の計画と評価	保育の計画と評価について

4	子どもの育ち・学びの連続性	幼児教育（就学前教育）と小学校教育（就学後）の学びそれぞれの目的と学び方の違いについて
5	子どもの育ち・学びの連続性	幼児教育（就学前教育）と小学校教育（就学後）の学びそれぞれの目的と学び方の違いについて
6	日本の保育の現状と課題	子どもを取り巻く日本の様々な現状や課題について
7	海外の保育事情	海外の保育に関する考え方を学び、様々保育実践について
8	保育者のあり方	専門家としての保育者のあり方について
9	修得確認	テストの実施
10	修得確認	テストの実施
11	総まとめ	第1～5講のまとめ
12	総まとめ	第6～10講のまとめ
13	総まとめ	第11～15講のまとめ
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保育者論A		
必修選択	必修	（学則表記）	保育者論A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	保育者論ー主体性のある保育者を目指して 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	「保育者とは何か」を命題として学生一人一人が目指していくべき保育者像、教職の意義、その役割や資質能力、職務内容についてを追及していく。
到達目標	保育者としての適性を探りながら、目指す保育者像を探求できる 専門職としての保育者の専門性、保育者に求められている役割が説明できる
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	保育者論B/保育原理A・B/乳児保育A・B/保育カリキュラム論A・B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	保育者とは	保育、保育者について
3	幼稚園教諭とは	幼稚園教諭の役割について
4	保育士とは	保育士の役割について

5	保育教諭および施設で働く保育者	保育教諭の役割について
6	保育の現代的な問題	子どもの最善の利益について
7	保育者の制度的位置付け	保育者の法的な定義について
8	保育者の資質・能力	保育者の専門性について
9	養護及び教育の一体的展開	養護と教育を一体的に行うことについて
10	養護及び教育の一体的展開	養護と教育を一体的に行うことについて
11	保育の質の向上	保育の質の向上について
12	計画に基づく保育の実践と省察・評価	PDCAサイクルについて
13	計画に基づく保育の実践と省察・評価	PDCAサイクルについて
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保育者論B		
必修選択	必修	（学則表記）	保育者論B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	保育者論ー主体性のある保育者を目指して 学習の手引き		出版社	萌文書林	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	実際の現場で保育者が働いている様子から伺える様々な葛藤や成長、多くの人やものとの出会いなどのエピソードを交えながら講義を進め、保育観を確立する。
到達目標	保育者の制度的な位置づけを説明できる 保育者として協働すべき様々な人、機関との連携を述べることができる
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	保育者論A/保育原理A・B/乳児保育A・B/保育カリキュラム論A・B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について
2	園内の保育者の実践と省察・評価	他の教職員や家庭との連携について
3	園内の保育者の実践と省察・評価	他の教職員や家庭との連携について
4	専門機関や地域との連携	保育者として連携すべき様々な専門機関等について

5	専門機関や地域との連携	保育者として連携すべき様々な専門機関等について
6	保育者の葛藤と成長	保育者としての葛藤について
7	保育の現代的な問題②	保育者として働き続けるための心の持ち様、必要なスキルについて
8	保育者を目指すあなたへ	これまでの保育者論の学びについて
9	修得確認	テストの実施
10	修得確認	テストの実施
11	総まとめ	第1～5講のまとめ
12	総まとめ	第6～10講のまとめ
13	総まとめ	第11～15講のまとめ
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保育の心理学ⅠA		
必修選択	選択	（学則表記）	保育の心理学ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	実践につながる新しい保育の心理学 学習の手引き		出版社	ミネルヴァ書房	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	乳幼児期から成人期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について習得する。 主体的な遊びや学習活動を支える指導の基礎となる考え方を身に付ける。
到達目標	子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を実践に生かすことができる。 保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を述べる事ができる。
評価基準	学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20%・期末テスト（修得確認）：50%・授業態度：30% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子ども家庭支援の心理学A、子ども家庭支援の心理学B、保育の心理学ⅠB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	長野　雅恵
実務経験	○
実務内容	県スクールカウンセラー勤務・病院カウンセラー・某市スクールカウンセラー・某町保健課幼児健診相談・判定員・療育心理相談員として勤務経験あり。就学判定専門勤務・県巡回相談員（幼・小・中）勤務。公認心理師取得。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 子どもの発達を理解する意義	授業の流れ、到達目標について 保育者が子どもの発達を学ぶ意義について①（第1章）
2	子どもの発達を 理解することの意義	保育者が子どもの発達を学ぶ意義について②（第1章）
3	子どもの発達と環境	子どもの発達に影響を与える環境について①（第2章）

4	子どもの発達と環境	子どもの発達に影響を与える環境について②（第2章）
5	子ども観・保育観と 発達理論からの視点	子ども観、保育観の歴史的な展開と、発達理論の子どもに対する視点について①（第3章）
6	子ども観・保育観と 発達理論からの視点	子ども観、保育観の歴史的な展開と、発達理論の子どもに対する視点について②（第3章）
7	社会情動的発達	社会情動的発達について①（第4章）
8	社会情動的発達	社会情動的発達について②（第4章）
9	身体機能と運動機能の発達	身体機能や運動機能（全身運動と手指の操作）の発達について①（第5章）
10	身体機能と運動機能の発達	身体機能や運動機能（全身運動と手指の操作）の発達について②（第5章）
11	認知の発達	ピアジェの発達理論から認知の発達について①（第6章）
12	認知の発達	ピアジェの発達理論から認知の発達について②（第6章）
13	言語の発達	言語発達について（第7章）
14	期末テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保育の心理学ＩB		
必修選択	選択	（学則表記）	保育の心理学ＩB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	実践につながる新しい保育の心理学 学習の手引き		出版社	ミネルヴァ書房	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	乳幼児期から成人期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について習得する。 主体的な遊びや学習活動を支える指導の基礎となる考え方を身に付ける。
到達目標	子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を実践に生かすことができる。 保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を述べる事ができる。
評価基準	学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％・期末テスト（修得確認）：50％・授業態度：30％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子ども家庭支援の心理学A、子どもの家庭支援の心理学B、保育の心理学ＩA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	長野　雅恵
実務経験	○
実務内容	県スクールカウンセラー勤務・病院カウンセラー・某市スクールカウンセラー・某町保健課幼児健診相談・判定員・療育心理相談員として勤務経験あり。就学判定専門勤務・県巡回相談員（幼・小・中）勤務。公認心理師取得。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アセスメント	後期の授業の流れ、到達目標について アセスメントの種類や意義、発達障害等支援の必要な子どもの特性について①（第8章）
2	アセスメント	アセスメントの種類や意義、発達障害等支援の必要な子どもの特性について②（第8章）
3	0、1、2歳の発達	誕生から２歳ごろまでの発達的特徴と発達課題について① （第9章）
4	0、1、2歳の発達	誕生から２歳ごろまでの発達的特徴と発達課題について② （第9章）

5	3、4、5歳の発達	3歳～5歳の発達的特徴と発達課題について①（第10章）
6	3、4、5歳の発達	3歳～5歳の発達的特徴と発達課題について②（第10章）
7	学童期から青年期までの発達	学童期、青年期の特徴について（第11章）
8	成人期から老年期までの発達	成人期の心理とライフイベントに伴う心理的葛藤について 老年期の加齢に伴う現象と成熟する側面について（第12章）
9	乳幼児期の学びに関する理論	学びに関する理論について（第13章）
10	乳幼児期の学び（遊び）の 過程と特性	「遊ぶこと」の意味や遊びの機能について（第14章）
11	乳幼児期の学び（遊び）を 支える保育	主体的に遊ぶということについて（第15章）
12	まとめ	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえた発達の視点について①
13	まとめ	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえた発達の視点について②
14	期末テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	社会福祉A		
必修選択	選択	（学則表記）	社会福祉A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	生活事例からはじめる 新版 社会福祉 第10版 学習の手引き		出版社	青踏社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育士は、児童福祉法に位置づけられた専門職である。子どもは、家庭・地域社会など、 様々な環境の影響を受けており、現代社会を生きる子どもを保育する時、福祉的な視点から家庭の実態や 生活課題を把握することは必要不可欠である。本教科目では、歴史的背景から社会福祉の考え方、 人間観を多面的に学ぶとともに、現代の社会福祉の制度・政策を学習する。これらを通し 社会福祉の対象者を理解し実践するための基礎を得る。
到達目標	① 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における 　子ども家庭福祉の視点について説明できる。 ② 社会福祉の制度や実施体系について説明できる。 ③ 社会福祉における相談援助について説明できる。
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格
関連科目	社会福祉B、子ども家庭福祉A/B、社会的養護ⅠA/B、子ども家庭支援論A/B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松尾　明奈	実務経験	○
実務内容	福祉施設にて社会福祉士として勤務歴あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、達成目標について
2	社会福祉の理念と課題①	社会福祉とは何か、「ノーマライゼーション」について（第1章1-1、1-2）
3	社会福祉の理念と課題②	社会福祉の「ニーズ」「社会参加」について（第１章1-3、1-4）

4	社会福祉の理念と課題②	社会福祉の「ニーズ」「社会参加」について（第１章1-3、1-4）
5	社会福祉の理念と課題③	社会福祉を支援する上での「自立」「平等」とは何かについて（第1章1-5、1-6）
6	社会福祉の理念と課題③	社会福祉を支援する上での「自立」「平等」とは何かについて（第1章1-5、1-6）
7	社会福祉の歴史的変遷①	貧困問題の取り組みや貧富の原因を歴史的変遷について（第1章2-1、2-2）
8	社会福祉の歴史的変遷①	貧困問題の取り組みや貧富の原因を歴史的変遷について（第1章2-1、2-2）
9	社会福祉の歴史的変遷②	国民の福祉の保障と、福祉を支援するのは誰かについて（第1章2-3）
10	社会福祉の歴史的変遷②	国民の福祉の保障と、福祉を支援するのは誰かについて（第1章2-3）
11	社会福祉と児童家庭福祉	社会福祉と児童家庭福祉の関連性について（第1章3-1､3-2､3-3）
12	社会福祉と児童家庭福祉	社会福祉と児童家庭福祉の関連性について（第1章3-1､3-2､3-3）
13	児童の権利擁護	「児童の人権擁護」に基づく支援のあり方について（第1章3-4）
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	社会福祉B		
必修選択	選択	（学則表記）	社会福祉B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	生活事例からはじめる 新版 社会福祉 第10版 学習の手引き		出版社	青踏社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育士は、児童福祉法に位置づけられた専門職である。子どもは、家庭・地域社会など、 様々な環境の影響を受けており、現代社会を生きる子どもを保育する時、福祉的な視点から家庭の実態や 生活課題を把握することは必要不可欠である。本教科目では、歴史的背景から社会福祉の考え方、 人間観を多面的に学ぶとともに、現代の社会福祉の制度・政策を学習する。これらを通し 社会福祉の対象者を理解し実践するための基礎を得る。		
到達目標	① 社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて説明できる。 ② 社会福祉の動向と課題について説明できる。		
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格		
関連科目	社会福祉A、子ども家庭福祉A/B、社会的養護ⅠA/B、子ども家庭支援論A/B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	松尾　明奈	実務経験	○
実務内容	福祉施設にて社会福祉士として勤務歴あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、達成目標について
2	社会福祉の制度①	「社会福祉のかかわる法律」について（第2章1-1）
3	社会福祉の制度②	「福祉の政策主体」や「社会福祉施設」について（第2章1-2～1-4）

4	社会福祉の制度②	「福祉の政策主体」や「社会福祉施設」について（第2章1-2～1-4）
5	社会保険	「社会保険」の仕組みについて（第2章2-1～2-3）
6	利用者を保護する仕組み	「第三者評価」「苦情解決の仕組み」「権利擁護」について（第2章4-1～4-3）
7	社会福祉の相談援助①	社会福祉の専門技術を知り、相談援助の基礎について（第3章1-1～1-3）
8	社会福祉の相談援助②	「ケースワーク」「コミュニティワーク」の方法について（第3章2-1～2-3）
9	社会福祉の動向と課題①	「ケースワーク」「コミュニティワーク」の方法について（第3章2-1～2-3）
10	社会福祉の動向と課題②	少子高齢化における社会福祉の動向について（第4章1-1～1-4）
11	総まとめ①	共生社会の実現と障害者施策の概要について（第4章2-1～3-3）
12	総まとめ②	社会福祉の制度や実施体系について
13	総まとめ③	社会福祉における相談援助について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ④	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子ども家庭福祉Ａ		
必修選択	選択	（学則表記）	子ども家庭福祉Ａ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	・「児童の福祉を支える　子ども家庭福祉」吉田眞理 ・学習の手引き		出版社	萌文書林　改訂版（2019年初版）	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	わが国では、子どもの貧困、児童虐待、障害児の療育など児童福祉の課題が山積するとともに、待機児童対策が急がれている。保育士は、すべての子どもの立場に立つことができる児童福祉職であり、子どもの存在を「人」として、「命」そのものとして理屈抜きで受け止められる専門職である。その保育士に必須といえる、児童家庭福祉に関する知識と福祉職としての自覚や態度を身に付ける。
到達目標	①現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について説明できるようになる。 ②子どもの人権擁護について理解し説明できる。 ③子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解し説明できる。 ④子ども家庭福祉の現状と課題について理解し説明できる。 ⑤子ども家庭福祉の動向と展望について理解し説明できる。
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格
関連科目	子ども家庭福祉B/社会福祉A・B/社会的養護ＩA・B/子ども家庭支援論A・B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	中富　里枝
実務経験	○
実務内容	幼稚園に約7年間幼稚園教諭として勤務。小児科に約3ヶ月勤務。 保育園に4年間保育士として勤務し、子育て支援も担当していた。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れと到達目標について
2	子ども家庭福祉の理念と概念	児童家庭福祉の実際の活動内容、実践対象と方法について
3	子ども家庭福祉の歴史的変遷	児童家庭福祉の歴史、児童家庭福祉の理念、現代の児童家庭福祉を理解する基礎について
4	現代社会と子ども家庭福祉	現代社会における子育ての実態、児童家庭福祉の必要性について
5		我が国の世帯構造や生活意識の変化、現代家庭の在り方について

6	子どもの人権擁護１	児童の権利擁護について 児童の権利に関する条約について
7	子どもの人権擁護２	第４講の学びをもとに子どもの権利を護る仕組みについて 第三者評価事業、苦情解決の仕組み、子どもの権利ノートについて
8	子ども家庭福祉の制度と法体系	子ども家庭福祉の制度と法体系について、保育分野における諸制度について 保育・福祉の法体系の全体像について
9	子ども家庭福祉行財政と実施機関	子ども家庭福祉を支える機関やその実務内容について 児童関係の実務について
10 11	児童福祉施設等	乳児院、児童養護施設をはじめとする児童福祉施設の概要について学ぶ
12	子ども家庭福祉の専門職・実施者	子ども家庭福祉の専門職や実施者のそれぞれの職場と仕事について
13	少子化と地域子育て支援、母子保健	母子保健分野の取り組みについて
14	修得確認	期末試験を実施
15	総まとめ	これまでの内容の振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子ども家庭福祉B		
必修選択	選択	(学則表記)	子ども家庭福祉B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	・「児童の福祉を支える　子ども家庭福祉」 ・学習の手引き		出版社	萌文書林　改訂版（2019年初版）	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	わが国では、子どもの貧困、児童虐待、障害児の療育など児童福祉の課題が山積するとともに、待機児童対策が急がれている。保育士は、すべての子どもの立場に立つことができる児童福祉職であり、子どもの存在を「人」として、「命」そのものとして理屈抜きで受け止められる専門職である。その保育士に必須といえる、児童家庭福祉に関する知識と福祉職としての自覚や態度を身に付ける。		
到達目標	①現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について説明できるようになる。 ②子どもの人権擁護について理解し、説明できる。 ③子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解し、説明できる。 ④子ども家庭福祉の現状と課題について理解し、説明できる。 ⑤子ども家庭福祉の動向と展望について理解し、説明できる。		
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格		
関連科目	子ども家庭福祉A/社会福祉A・B/社会的養護ⅠA・B/子ども家庭支援論A・B		
備考	原則、この科目オンデマンド授業形式にて実施する。		
担当教員	中富　里枝	実務経験	○
実務内容	幼稚園に約7年間幼稚園教諭として勤務。小児科に約3ヶ月勤務。 保育園に4年間保育士として勤務し、子育て支援も担当していた。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	多様な保育ニーズへの対応	地域における多様な保育サービスの展開について
2	児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、社会的養護	児童虐待の実態、対応について
3	障害のある児童、少年非行等への対応	在宅障害児の地域の暮らしと支援する制度、少年非行について
4	ひとり親家庭、子どもと食育	ひとり親家庭の現状について、保育者としての支援について
5	子ども家庭福祉の動向と展望	子ども家庭福祉の方向性、保育を視点とした取り組みや隣接分野との連携の在り方について

6	修得確認	修得確認の試験実施
7	子ども家庭福祉の理念と概念、歴史的変遷、現代社会と子ども家庭福祉	周辺知識等の調査・ワークにより、学びを深める内容を実施する
8	子どもの人権擁護	周辺知識等の調査・ワークにより、学びを深める内容を実施する
9	子ども家庭福祉の制度と法体系、行財政と実施機関	周辺知識等の調査・ワークにより、学びを深める内容を実施する
10	児童福祉施設等、子ども家庭福祉の専門職・実施者	周辺知識等の調査・ワークにより、学びを深める内容を実施する
11	少子化と地域子育て支援、母子保健、多様な保育ニーズへの対応	周辺知識等の調査・ワークにより、学びを深める内容を実施する
12	児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、社会的養護、 障害のある児童、少年非行等への対応	周辺知識等の調査・ワークにより、学びを深める内容を実施する
13	ひとり親家庭、子どもと食育、子ども家庭福祉の動向と展望	周辺知識等の調査・ワークにより、学びを深める内容を実施する
14	期末テスト	期末試験を実施
15	総まとめ	本科目で実施した内容の振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	乳児保育ＩA		
必修選択	選択	（学則表記）	乳児保育ＩA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	コンパス　乳児保育 学習の手引き		出版社	建帛社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	本科目では、０歳から３歳未満児の発達を理解し、基礎知識を学ぶ。保育所保育指針の踏まえ、子どもの生活を多角的にとらえることにより、子どもの健康や安全、望ましい育ちや環境など、保育現場、育児現場などにおける保育の在り方を考える。また、保育所における乳児保育の特質を知り、３歳未満児に求められる養護と教育とは何かを学ぶ。さらに、ケーススタディを通して、様々な現場で実際に活用できる援助方法を習得する。
到達目標	①乳児に親しみを持ち、保育者として望ましい態度を認識することができる。 ②３歳未満児の発達と生活を理解し、基礎知識を習得することができる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格
関連科目	乳児保育A/保育者論A・B/保育原理A・B/保育カリキュラム論A・B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	乳児保育とは	乳児保育を学ぶ目的・日本の乳児保育の課題を理解する
2	乳児保育とは	乳児保育を学ぶ目的・日本の乳児保育の課題を理解する
3	乳児保育の基本	乳児保育の日本社会の歴史的変遷と現代の乳児保育の社会的役割を理解する
4	乳児保育の基本	乳児保育の日本社会の歴史的変遷と現代の乳児保育の社会的役割を理解する

5	乳児保育の制度と課題	多様な子育て支援政策と乳児が過ごす多様な場を理解する
6	乳児保育の制度と課題	多様な子育て支援政策と乳児が過ごす多様な場を理解する
7	１歳未満児の発達過程からみる 保育内容	1歳未満児への望ましい支援と援助方法を理解する
8	１歳未満児の発達過程からみる 保育内容	1歳未満児への望ましい支援と援助方法を理解する
9	１歳以上３歳未満児の発達過程からみる保育内容	1歳以上3歳未満児への望ましい支援と援助方法を理解する
10	１歳以上3歳未満児の発達過程からみる保育内容	1歳以上3歳未満児への望ましい支援と援助方法を理解する
11	基本的生活習慣の獲得①	乳児保育における基本的生活習慣の自立に向けた支援と援助方法 （食事・排泄）を理解する
12	基本的生活習慣の獲得①	乳児保育における基本的生活習慣の自立に向けた支援と援助方法 （食事・排泄）を理解する
13	基本的生活習慣の獲得②	乳児保育における基本的生活習慣の自立に向けた支援と援助方法 （睡眠・衣服の着脱・清潔）を理解する
14	テスト	前期の範囲で修得確認を行う
15	前期総まとめ	前期で実施した内容の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	乳児保育ⅠB		
必修選択	選択	（学則表記）	乳児保育ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	コンパス　乳児保育 学習の手引き		出版社	建帛社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	本科目では、0歳から3歳未満児の発達を理解し、基礎知識を学ぶ。保育所保育指針の踏まえ、子どもの生活を多角的にとらえることにより、子どもの健康や安全、望ましい育ちや環境など、保育現場、育児現場などにおける保育の在り方を考える。また、保育所における乳児保育の特質を知り、３歳未満児に求められる養護と教育とは何かを学ぶ。さらに、ケーススタディを通して、様々な現場で実際に活用できる援助方法を習得する。
到達目標	①３歳未満児の発達と生活を理解し、基礎知識を習得することができる。 ②保育現場で生かされる具体的な保育技能を身につけることができる。
評価基準	修得確認：50％・授業態度：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格
関連科目	乳児保育B/保育者論A・B/保育原理A・B/保育カリキュラム論A・B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美　　実務経験　○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	乳児保育の計画と記録①	指導計画の理解と作成を行う
2	乳児保育の計画と記録②	個別配慮と環境・職員間の協働を理解する
3	乳児保育における連携	子育て支援のシステムと支援方法を理解する
4	食事の計画、提供及び評価・改善①	冷凍・冷蔵母乳と食物アレルギーを理解する

5	食事の計画、提供及び評価・改善②	保育室での配慮を理解する
6	子育てをめぐる家族の権利と責任①	児童福祉法・教育基本法からの検討・演習を理解する
7	子育てをめぐる家族の権利と責任②	子どもの権利に関する条約について理解する
8	章末課題	各章の振り返り、現場実践に活かす手立てを理解する
9	総括①	乳児に親しみを持ち、保育者として望ましい態度を認識する
10	総括②	乳児に親しみを持ち、保育者として望ましい態度を認識する
11	総括③	乳児に親しみを持ち、保育者として望ましい態度を認識する
12	総括④	3歳未満児の発達と生活を理解し、基礎知識を習得する
13	統括⑤	3歳未満児の発達と生活を理解し、基礎知識を習得する
14	テスト	本科目の修得確認を行う
15	全体総まとめ	本科目で実施した内容の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	教育原理		
必修選択	選択	（学則表記）	教育原理		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	中村弘行著「人物で学ぶ教育原理」 学習の手引き		出版社	三恵社　第10刷改版発行	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	①教育の理念、思想、歴史などの検討を通して教育学の基礎的な知識について体系的に学ぶ。 ②教育にかかわる今日的な課題についても原理的に考察する。 ③教えることや学ぶことはどのような営みなのか、先人の教育観や子ども観を学び、現代的に考えることができるようにする。
到達目標	①教育学の基礎的な「教育の本質や意義」について説明できる。 ②教育の歴史から教育のあり方や子どもの捉え方など家庭や社会における教育について具体的に述べる事ができる。 ③子ども中心の経験や活動中心の教育理論や思想を理解した上で、今日的課題を説明できる。
評価基準	修得確認：50%　　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	幼稚園教諭・保育士資格
関連科目	教育制度論、教育相談
備考	原則、この科目は対面授業形式とする
担当教員	中富　里枝
実務経験	○
実務内容	幼稚園に約7年間幼稚園教諭として勤務。小児科に約3ヶ月勤務。 保育園に4年間保育士として勤務し、子育て支援も担当していた。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 教育の本質・意義	授業の流れ、到達目標について 教育とは何か、教育の必要性や可能性、保育との関連について
2	西洋の教育思想（17世紀～18世紀）	コメニウス、ロック、ルソーの思想について
3	西洋の教育思想（18世紀末～19世紀）	フレーベル、デューイ、モンテッソーリの思想について
4	日本の教育思想（江戸～明治）	貝原益軒、佐藤信淵、福沢諭吉の思想について

5	日本の教育思想（明治～昭和）	森有礼、倉橋惣三、城戸幡太郎の思想について
6	外国教育史①	古代ギリシャから近代ヨーロッパにおける教育思想や歴史について
7	外国教育史②	
8	日本教育史①	古代から昭和初期までの日本の教育思想や歴史について
9	日本教育史②	
10	理想の教育実践①	学校制度成立以降のよりよい教育内容や方法について
11	理想の教育実践②	
12	単元ごとのまとめ①	単元ごとのワークと復習
13	単元ごとのまとめ②	単元ごとのワークと復習
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	教育制度論		
必修選択	選択	（学則表記）	教育制度論		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	『新訂第2版　保育者・小学校教員のための教育制度論―この一冊で基礎から学ぶ』 学習の手引き		出版社	教育開発研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	学校制度をはじめとする教育制度の基本的な仕組みや社会的役割を学ぶ。また、教育制度の改革の動向から、現代の教育における課題に対しどう対処しようとしているのかを学び、教育制度の問題解決的な側面を理解する。 それにより、子どもを取り巻く社会的制度的環境について自らの考えを深めることを目指す。
到達目標	①学校や教育、保育に関する基本的な仕組みについて目的や具体的な決まりを説明できる。 ②現行の教育制度における様々な課題と解決に向けた取り組みについて説明できる。 ③子ども、教育者、教育実践、社会全体に資する教育制度の在り方について発表することができる。
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士・幼稚園教諭免許
関連科目	教育原理
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	中富　里枝
実務経験	○
実務内容	幼稚園に約7年間幼稚園教諭として勤務。小児科に約3ヶ月勤務。 保育園に4年間保育士として勤務し、子育て支援も担当していた。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	教育制度とは何か	教育を受ける権利を保障する仕組み、公教育の原理について（第1章・第2章）
2	学校教育に関する仕組み	学校の基本的な仕組みについて（第3章・第6章）

3	就学前の教育・保育に関する仕組み	就学前の教育・保育、児童福祉に関する基本的な仕組みについて （第4章・第5章）
4		
5	教育行政の仕組み	教育活動を支える作用について（第9章）
6	学校経営と学校・課程・地域との連携に関する仕組み	学校経営に関する基本事項および学校・家庭・地域の連携を支える仕組みについて（第10・11章）
7	特別支援教育の仕組み	特別なニーズへの対応について（第7章）
8		
9	子どもの安全・安心に関する仕組み	子どもの問題行動や事故について知り学校安全や安心について（第12章・第14章）
10		
11	子育て支援の仕組み	保育・教育改革の動向、今後の課題について（第15章）
12	修得確認	期末テストの実施
13	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
14		
15		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	人間関係		
必修選択	選択	（学則表記）	人間関係		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	実践につながる　新しい保育内容「人間関係」 学習の手引き		出版社	みらい	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	人は、生まれてまず「家族」という人間関係の中で生活を始め、徐々に関わりの世界を周辺に広げていく。 幼児の人と関わる力の育ちは関わる対象や場面の中で育まれ、幼児教育はその礎である。本科目では幼児期の人間関係について全般的知識や課題を学ぶ。
到達目標	①領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を述べることができる。 ②幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を述べることができる。 ③幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から述べることができる。
評価基準	修得確認：50%　授業態度：30%　学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）20% 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	幼稚園教諭免許
関連科目	人間関係指導法、言葉、環境
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	黒木　知恵美
実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	子どもを取り巻く現代社会の現状	子どもを取り巻く現代的課題と子どもの生活の変化、新しい時代に求められる教育的効果としての非認知能力、領域「人間関係」の成り立ちと目指すもの（第１章）
2	領域　「人間関係」	0歳児のねらいと内容における「人間関係」、領域「人間関係」における1歳以上3歳未満児のねらいと内容、領域「人間関係」における３歳～5歳のねらいと内容（第２章）
3	0歳児における人間関係と援助	0歳児の心身の育ちと人間関係、人との関わりを育むあそび（第３章）
4	１～2歳児における人間関係と援助	１～2歳の心身の育ちと人間関係、人との関わりを楽しむあそび（保育者による支援）（第４章）

5	１～2歳児における人間関係と援助	１～2歳の心身の育ちと人間関係、人との関わりを楽しむあそび（保育者による支援）（第４章）
6	３～5歳児における人間関係と援助	３～5歳の心身の育ちと人間関係、人との関わりを育むための子ども理解、幼児期までに育ってほしい姿と小学校への接続（第5章）
7	３～5歳児における人間関係と援助	３～5歳の心身の育ちと人間関係、人との関わりを育むための子ども理解、幼児期までに育ってほしい姿と小学校への接続（第5章）
8	人との関わりが難しい子どもへの支援	集団生活に困難が伴う子どもとは、インクルーシブな保育に向けて（第６章）
9	子育て支援における人との関わり	子育て支援とは、園における保護者支援の種類と関わり、子育て支援センターにおける「おもちゃの広場」の実践例（第７章）
10	保育における現代的課題	ICT技術の発展と幼児期の影響、外国にルーツを持つ子どもや家族との関わり（第８章）
11	修得確認	第1講～4講までのまとめ
12	修得確認	第5講～8講までのまとめ
13	修得確認	期末テストの実施
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	環境		
必修選択	選択	（学則表記）	環境		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	【新版】保育内容・「環境」 学習の手引き		出版社	大学図書出版	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	領域「環境」の指導に関連する、子どもを取り巻く環境について学ぶ。 子どもと環境との関わりについての専門的知識・技術を身に付ける。		
到達目標	① 環境とは何かを理解し、説明できる。 ② 環境とかかわる力を子どもに培うためには保育者としてどう在るべきか考察できる。 ③ 子どもの視点に立った環境を構成する心構えをもつことができる。		
評価基準	修得確認：５０％・授業態度：３０％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：２０％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	幼稚園教諭免許		
関連科目	言葉/人間関係		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	片渕　祐海	実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【第１講】環境とは何か	環境と５領域としての環境について （第1章 保育とは何か）
2	【第２講】領域 環境のねらい・内容	領域 環境のねらい・内容について （第2章領域「環境」について）
3	【第３講】園のあり方としての環境	人的環境・物的環境・自然環境・社会環境、危険への対応、園での環境構成の実際について （第3章子どもの生活と環境とのかかわり、第4章園の環境構成、第5章物とのかかわりと遊び）
4	【第３講】園のあり方としての環境	
5	【第４講】科学との出会いと環境	保育における科学について （第9章科学との出会いと環境）

6	【第５講】子どもを取り巻く社会環境	地域社会とのかかわりについて （第11章子どもを取り巻く社会環境）
7	【第６講】自然環境との関わり	自然、季節、動植物、小動物とのかかわりの事例について 命の移り変わりについて、悲しみについて （第6章自然環境とのかかわり）
8	【第７講】数量・図形・文字・標識とのかかわり保育と行事	保育の中で数量を学ぶということについて （第7章数量と図形とのかかわり、第8章幼児と文字・標識のかかわり）
9	【第７講】数量・図形・文字・標識とのかかわり保育と行事	年中行事、その実際・教材研究について （第10章保育と行事）
10	【第８講】環境教育について 子どもを取り巻く情報メディア	子どもとコンピュータ・指導計画作成について （第14章子どもを取り巻く情報メディア）
11	【第８講】環境教育について 子どもを取り巻く情報メディア	持続発展教育、持続可能な社会について 模擬保育準備 （第13章環境教育について）
12	単元ごとの修得確認	第１講～８講までのまとめ
13	全体修得確認	本科目の実施内容の修得状況の確認
14	総まとめ	単元ごとのワーク
15	全体総まとめ	本科目の全体を振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	子どもの造形表現A		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの造形表現A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	生活事例からはじめる 造形表現 学習の手引き		出版社	宮川萬寿美・吉田収・野津直樹 青踏社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	①幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造力を豊にする様々な表現遊びや環境の構成等の専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。 ②子どもの経験やさまざまな表現活動と造形を結びつける遊びの展開ができる。
到達目標	①幼児の感性や表現の姿、発達を理解することができる。 ②さまざまな用具や道具、素材や教材等の特性の理解し、実践することができる。 ③様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊にする。 ④子どもの遊びやイメージを豊にする。
評価基準	授業態度：50％（制作への取り組みや提出物含む）・修得確認：30％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：20％
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	保育士・幼稚園教諭
関連科目	子どもの造形表現Ｂ/製作遊びＡ・Ｂ/表現指導法Ａ・Ｂ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	青柳　隆之介
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	幼児期の造形表現について	造形の意義と幼児期の造形に関する発達について
2	平面表現①	造形で多く使われる平面の素材である絵の具や描画材の性質について
3	平面表現①	平面表現における素材の活用法、応用する術について
4		

5	平面表現②	版画を応用した表現方法について
6 7	平面表現②	幼児造形における版画の活用法について
8	立体表現①	粘土について
9 10	立体表現①	粘土の種類と特性、活用方法について
11	立体表現②	立体素材の木や紙の特徴、造形への活用法について
12 13	立体表現②	立体素材を扱うための道具の使用方法について
14	修得確認	修得確認
15	まとめ	振り返り、まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	子どもの造形表現B		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの造形表現B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	表現(造形)～基礎技法から造形の基礎知識まで～ 学習の手引き		出版社	宮川萬寿美・吉田収・野津直樹 青踏社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	①幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造力を豊にする様々な表現遊びや環境の構成等の専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。 ②子どもの経験やさまざまな表現活動と造形を結びつける遊びの展開ができる。
到達目標	①幼児の感性や表現の姿、発達を理解することができる。 ②さまざまな用具や道具、素材や教材等の特性の理解し、実践することができる。 ③様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊にする。 ④子どもの遊びやイメージを豊にする。
評価基準	修得確認：５０％・授業態度：３０％/学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）：２０％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	保育士・幼稚園教諭
関連科目	子どもの造形表現Ａ/製作遊びＡ・Ｂ/表現指導法Ａ・Ｂ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	青柳　隆之介
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	表現の原理(色彩)	色彩の基礎について
2		
3		

4	協働しての表現	造形における協働での作品制作の在り方について
5		
6		
7		
8	保育での模擬保育	造形活動を念頭に置いた指導計画作成の手順について
9		
10		
11	修得確認	各単元ごとの振り返りやまとめを行い、学習した内容を整理し、改めて理解する。
12	修得確認	修得確認の実施
13	総まとめ	本科目で学んだ技術・保育への展開方法を振り返り製作、発表をする。
14		
15		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	音楽理論		
必修選択	選択	（学則表記）	音楽理論		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	子どものための音楽表現技術・保育のためのやさしい子どもの歌―弾き歌い・合奏・連弾・合唱 学習の手引き	出版社	萌文書林、ミネルヴァ書房		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	幼児の音楽的遊びや領域「表現」の関連性、幼児の音楽的発達を理解する。 音楽表現が他者の表現への共感や表現を豊かにしていく過程を学び、音楽表現活動計画を立案し実践する。
到達目標	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の完成や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付け、実践することができる。 幼児の楽器を用いた音楽表現に視点を当て、幼児の音楽的表現の理解や、幼児の感性や音楽表現の育成に繋がる音楽的基礎知識、音楽表現の基礎知識、技能、感性を身に付け、実践することができる。
評価基準	修得確認：５０％・授業態度：３０％・学習の手引き（理解度テスト・レポートテスト）２０％ 科目修得試験結果（合否）は専門学校の成績に影響しない。
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許
関連科目	子どもの音楽ＩＡ、ＩＢ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	川原　智子
実務経験	○
実務内容	中村学園大学及び中村学園大学短期大学部にて、25年勤務、音楽指導に携わる 学校法人英数学館 英数高等学院にて８年間音楽指導に携わる

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1 2	音楽的な表現 わらべうた	わらべうた遊びの実践・わらべうたの特徴の理解について
3 4	幼児の音楽表現活動～幼児の歌唱活動	初めてのうたの歌唱活動の支援について
5 6	幼児の音楽表現活動～リトミック	リトミックの教育目的・活動方法・遊び方の留意点について リズムやフレーズを用いたリトミックの実践とその理解について

7 8	幼児の音楽表現活動～リトミック②	拍子を用いたリトミックの実践とその理解について
9 10	幼児の音楽表現活動～オルフの音楽教育	日常の音を聴く遊び・ボディーパーカッションについて オルフの音楽教育について
11 12	音楽遊びの指導計画の立案 音楽遊びの指導計画立案の理解と実践①	音楽遊びの指導計画の概要と作成方法について 低年齢児を対象とした音楽遊び計画案の理解と音楽遊びの実践について ①楽器活動～卵のマラカスを用いた「たなばたさま」遊び
13	音楽遊びの計画案の理解と実践② 遊びの環境	4、5歳児を対象とした音楽遊び計画案の理解と音楽遊びの実践②楽器活動～言葉のリズムを用いた「とけいのうた」の合奏 音楽遊びの環境について
14	修得確認	まとめ、修得確認を行う
15	振り返り、まとめ	振り返り、まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	子どものうた		
必修選択	選択	（学則表記）	子どものうた		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	こどものうた200、続こどものうた200、保育のためのやさしい子どもの弾き歌い・合奏・連弾・合唱		出版社	チャイルド本社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	こどものうたを調ごとに分け、特徴も合わせて覚える
到達目標	年齢に沿ったうたを理解しながらピアノ伴奏の基礎を身につけ、演奏することができる
評価基準	修得確認：50%　小テスト（発表）：30%　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子どものリトミックA・B、手遊び
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	川原　智子
実務経験	○
実務内容	中村学園大学及び中村学園大学短期大学部にて、25年勤務、音楽指導に携わる 学校法人英数学館 英数高等学院にて８年間音楽指導に携わる

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、評価方法について
2	ハ長調のうた② CFGのコード	ハ長調の曲より、生活のうた、CFGのコードで弾ける曲について
3	ハ長調のうた③ CFGのコード	ハ長調の曲より、CFGのコードで弾ける曲について
4	ハ長調のうた④ ハ長調の曲の伴奏	ハ長調の曲の伴奏の基本について
5	ハ長調のうた⑤ 伴奏に旋律のない曲①	ハ長調の曲の伴奏の応用について①
6	ハ長調のうた⑥ 伴奏に旋律のない曲②	ハ長調の曲の伴奏の応用について②
7	ヘ長調のうた①	ヘ長調の曲の基本について①

8	ヘ長調のうた②	ヘ長調の曲の基本について②
9	ト長調のうた①	ト長調の曲の基本について①
10	ト長調のうた②	ト長調の曲の基本について②
11	ニ長調のうた①	ニ長調の曲の基本について
12	その他の調①	変ロ長調、変ホ長調、変イ長調の曲の特徴について
13	その他の調②　短調の曲	ホ短調、ハ短調の曲の特徴について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	子どもの音楽ⅠA		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの音楽ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	こものうた200、続こものうた200		出版社	チャイルド本社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	子ども達と楽しく歌を共有することをイメージし、レパートリーを増やす		
到達目標	保育現場で子ども達と共有できる歌とピアノの技術の習得ができる		
評価基準	授業態度：40%　実技発表：30%　小テスト、学期末修得確認：30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許		
関連科目	子どもの音楽ⅠB、子どもの音楽ⅡA・ⅡB、子どもの音楽ⅢA・ⅢB、子どものうた		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	川原　智子	実務経験	○
実務内容	中村学園大学及び中村学園大学短期大学部にて、25年勤務、音楽指導に携わる 学校法人英数学館 英数高等学院にて８年間音楽指導に携わる		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・評価方法、手の形／指番号／姿勢について
2	ピアノの基本②	・CFGのコード、ハ長調の曲について ・小テスト
3	ピアノの基本③	
4	ピアノの基本④	

5	ピアノの基本⑧	・生活のうた、ハ長調の曲について ・小テスト
6	ピアノの基本⑨	
7	ピアノの基本⑩	
8	ピアノの基本⑭	・ハ長調の曲について
9	ピアノの基本⑮	
10	まとめ①振り返り	・ハ長調の曲の振り返りについて
11	ピアノの基本⑲	・FCBのコード、ヘ長調の曲について ・小テスト
12	ピアノの基本⑲	
13	ピアノの基本㉑	・伴奏に旋律のある曲、ヘ長調の曲について
14	期末テスト	・期末テストの実施
15	総まとめ	・テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	子どもの音楽ⅠB		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの音楽ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	こどものうた200　続こどものうた200		出版社	チャイルド本社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	子ども達と楽しく歌を共有することをイメージし、レパートリーを増やす		
到達目標	季節、行事の歌など、こどものうたを幅広く演奏できるようになる		
評価基準	授業態度：40%　実技発表：30%　学期末修得確認：30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許		
関連科目	子どもの音楽ⅠA、子どもの音楽ⅡA・ⅡB、子どもの音楽ⅢA・ⅢB、子どものうた		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	川原　智子	実務経験	○
実務内容	中村学園大学及び中村学園大学短期大学部にて、25年勤務、音楽指導に携わる 学校法人英数学館 英数高等学院にて８年間音楽指導に携わる		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、評価方法について
2	ピアノの応用　ヘ長調	ヘ長調の曲について 小テスト
3	ピアノの応用　ヘ長調	
4	ピアノの応用　ヘ長調	
5	ヘ長調まとめ　実技発表	今まで学んだヘ長調の曲の復習

6	ピアノの応用　ト長調	ト長調の曲について 小テスト
7	ピアノの応用　ト長調	
8	ト長調まとめ　実技発表	今まで学んだト長調の曲の復習
9	ピアノの応用　ニ長調	ニ長調の曲について 小テスト
10	ピアノの応用　ニ長調	
11	ニ長調まとめ、実技発表	今まで学んだニ長調の曲の復習
12	ピアノの応用　変ロ長調	変ロ長調の曲について
13	ピアノの応用　ハ短調ホ短調	短調の曲（ハ短調ホ短調）について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	子どものリトミックA		
必修選択	選択	（学則表記）	子どものリトミックA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	楽しみながらからだを動かす1歳～5歳の「かんたんリトミック」、こどものうた２００		出版社	ナツメ社、チャイルド本社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	音楽を通して自己表現の幅を広げる
到達目標	子ども達と一緒に音楽で動ける喜びを味わい、年齢や季節に合わせた動きを実践することができる
評価基準	表現力、創造性、協調性を含む平常点40％、定期修得確認30％、学期末修得確認30％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許
関連科目	子どものリトミックB/手遊び/子どものうた
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	平戸　伊津子
実務経験	○
実務内容	保育園、幼稚園にて保育補助として6年勤務。保育園で音楽講師、リトミック講師として6年勤務。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション リトミック概要	リトミックの重要性について リトミックの考え方、基本動作について
2	うたあそび 5歳リトミック春	うたあそびについて 5歳児の特徴について
3	うたあそび ビートについて	うたあそびについて ビートの捉え方について
4	3歳児リトミック春 ４歳児リトミック春	3歳児の特徴について 4歳児の特徴について
5	1歳児リトミック春	1歳児の特徴について

6	2歳児リトミック春 ダイナミクス	2歳児の特徴について 空間を感じる活動について
7	テンポ ４，５歳児春まとめ	空間を感じる活動について 音楽を通して表現することについて 定期修得をする。
8	1,2,3,歳児春まとめ うたあそび	音楽を通して表現することについて うたあそびについて 定期修得確認をする。
9	5歳リトミック夏	フレーズの感じ方について
10	拍子（２拍子と4拍子） 拍子（３拍子と６拍子）	拍子の特徴、ビートの捉え方について
11	3歳児リトミック夏 4歳児リトミック夏	アクセントなど様々な拍子の種類について
12	1歳児リトミック夏 2歳児リトミック夏	即時反応について
13	うたあそび リズムパターン	うたあそびについて ビート、拍子、ダイナミクス、リズムについて
14	総まとめ 学期末修得確認	学期末修得確認をする
15	総まとめ	修得確認の振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	子どものリトミックＢ		
必修選択	選択	（学則表記）	子どものリトミックＢ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	楽しみながらからだを動かす1歳から5歳の「かんたんリトミック」、続こどものうた２００		出版社	ナツメ社、チャイルド本社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	音楽を通して自己表現の幅を広げる。		
到達目標	たくさんの子ども達を、音楽遊びでリードをすることができる		
評価基準	表現力、創造性、協調性を含む平常点40％、定期修得確認30％、学期末修得確認30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許		
関連科目	子どものリトミックA/手遊び/子どものうた		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	平戸　伊津子	実務経験	○
実務内容	保育園、幼稚園にて保育補助として6年勤務。保育園で音楽講師、リトミック講師として6年勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	5歳児のリトミック秋 うたあそび	うたあそびについて
2	フレーズについて うたあそび	うたあそびについて
3	3歳児リトミック秋 4歳児リトミック秋	リズム、拍子について
4	1歳児リトミック秋 2歳児リトミック秋	拍子とダイナミクスについて
5	うたあそび 形式	うたあそびについて

6	4歳、5歳の秋　まとめ 1歳、2歳、3歳の秋　まとめ	定期修得確認を実施する
7 8	5歳児のリトミック冬 3歳児リトミック冬 4歳児リトミック冬	表現方法について
9	ニュアンス	緊張と弛緩について スタッカートとレガートについて
10	1歳児リトミック冬 5歳児のリトミック冬 2歳児リトミック冬	表現方法について
11	ソルフェージュ うたあそび	ハンドジェスチャーとボディーサインの表現方法について うたあそびについて
12	4歳児、5歳児冬まとめ 1歳、2歳、3歳の冬　まとめ	表現方法について
13	リトミック実践のポイント	リトミックの実践方法について
14	修得確認	学期末修得確認を実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	子どもの運動支援		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの運動支援		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	0～5歳児の発達に合った楽しい！運動遊び 幼児期運動指針ガイドブック 毎日、楽しく体を動かすために		出版社	ナツメ社 サンライフ企画	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	自己の運動能力を向上させ、保育に活かせる基本的な補助法と幇助法を身につける		
到達目標	子ども達の見本となる運動実技・指導方法を身につけることができる。 マット・鉄棒・跳び箱運動における補助法が確実にできる。		
評価基準	修得確認：40%、授業態度と参加の積極性：40%小テスト、課題レポート：20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	運動あそび		
備考	原則、対面授業形式にて実施する		
担当教員	髙見　翔吾	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	基本的運動	オリエンテーション・基本的運動について
2	マット運動①	色々なマット種目の自己の技術について

3	マット運動②	前転、後転、側転、倒立前転、その他種目の運動技能について 子どもに対する安全な補助について
4	マット運動③	
5	マット運動④	
6	マット運動⑤	
7	修得確認	学習内容の確認をするため修得確認を実施する。
8	跳び箱運動①	開脚とび、台上前転、その他種目の運動技能について 子どもに対する安全な補助について
9	跳び箱運動②	
10	跳び箱運動③	
11	跳び箱運動④	
12	修得確認	学習内容の確認をするため修得確認を実施する。
13	ボール運動①	ボールを使用した運動について
14	ボール運動②	ルールのあるボール運動ついて
15	修得確認	今まで行った学習内容の技能、補助法について確認修得確認を実施する。
16	鉄棒運動①	色々な鉄棒種目の自己の技術について
17	鉄棒運動②	足抜き尻抜きまわり、前まわり下り、逆上がり、その他種目の運動技能について 子どもに対する安全な補助について
18	鉄棒運動③	
19	鉄棒運動④	
20	鉄棒運動⑤	
21	修得確認	学習内容について確認をするためテストを実施する。
22	なわ跳び運動①	縄跳び運動の種類について、様々な跳び方を実践する （前とび、後ろとび、交差とび、綾とび、2重跳び、その他種目）
23	なわ跳び運動②	

24	なわ跳び運動③	長縄あそびの実践、縄の跳び方、回し方について
25	なわ跳び運動④	
26	修得確認	学習内容について確認をするため修得確認を実施する。
27	フープ運動	フープを使用した運動ついて
28	平均台運動	平均台を使用した運動ついて
29	テスト	今まで行った学習内容の技能、補助法について確認テストを実施する。
30	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	手遊び		
必修選択	選択	（学則表記）	手遊び		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	保育で役立つ！0～5歳児の手遊び・うたあそび		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	子どもたちが喜んで遊べるような指遊び・手遊び・身体遊びを数多く覚える。
到達目標	教科書や歌詞を見ずに手遊び・指遊び・手話ソングを歌うことができる 実習先や就職先で活用できる手袋シアターを作成し、人前で発表することが出来る
評価基準	テスト（発表）：50％　提出物：30％　授業態度：20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	子どものリトミックＡ・Ｂ、子どものうた
備考	原則、この授業は対面形式で実施する
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業内容・評価方法を理解する。 教科書の中から知ってる手遊びをピックアップして実際に行う。
2	手遊び（0、1歳児）	①あかちゃん たいこ・②ちょちちょちあわわ・③にんどころ・④ハナハナあそび ⑤あがりめさがりめ・⑥ももものはなさいた・⑦ぼうずぼうず
3	手遊び（0、1歳児）	①にんぎにんぎ・②おつむてんてん・③鳩・④いっぴきちゅう ⑤一本橋こちょこちょ・⑥おせんべやけたかな・⑦だるまさん・⑧とんとんどなた
4	手遊び（0、1歳児）	①ぺんぎんさんのやまのぼり・②糸まき・③もじょもじょかいじゅう・④ころりんたまご ⑤なっとうさん・⑥みんないいこ・⑦こりゃどこのじぞうさん・⑧大きなたいこ
5	手遊び（2、3歳児）	①こどものけんかに・②おはぎがおよめに・③ぞうさんつくろう・④コブタヌキツネコ ⑤おだんごふたつ・⑥キャベツはキャッキャッキャッ・⑦まほうのつえ

6	手遊び（2、3歳児）	①おててをあらいましょう・②とんでけバイキン・③ちいさいはたけ・④アイアイ ⑤とうさんゆびどこです・⑥てててて・⑦どこでしょう
7	手遊び（2、3歳児）	①そらにかこう・②1丁目のウルトラマン・③のねずみ・④いっぽんばしにほんばし ⑤あたまのうえでパン・⑥ひとつの指でできること・⑦いっぽんといっぽんで
8	手遊び（2、3歳児）	①かみしばいのうた・②はじまるよったら始まるよ・③おはなしゆびさん・④さかながはねて ⑤てんぐおはな・⑥おやすみなさい・⑦Twinkle,twinkle,little star・⑧Row,Row,Row your boat
9	手遊び（4、5歳児）	①てをたたこう・②なっとう・③奈良の大仏さん・④はちべえさんとじゅうべえさん ⑤くいしんぼゴリラのうた・⑥きんぎょちゃんとメダカちゃん・⑦きゃべつのなかから
10	手遊び（4、5歳児）	①きつねのおはなし・②かなづちトントン・③さぁみんなで・④なぞなぞむし ⑤木登りコアラ・⑥おべんとバス・⑦親子ドンブリ
11	手遊び（4、5歳児）	①たまごでおりょうり・②おなべふ・③茶ちゃつぼ・④くもちゃんゆらゆら ⑤5つのメロンパン・⑥いわしのひらき・⑦じゃがいも芽だした
12	手遊び（4、5歳児）	①いちにのさん・②うさぎとかめ・③おちゃらか・④アルプス一万尺 ⑤だいくのキツツキさん・⑥おおきくなったら・⑦桃太郎
13	手遊び（4、5歳児）	①みかんの咲く丘・②竹やぶのなかから・③どっちひいてポン・④でんでらりゅうば ⑤Head,shoulders,knees and Toes・⑥Are you sleeping
14	手遊び発表①	前期の復習として、学んだ手遊びの発表を行う。
15	総まとめ	発表の振り返りと前期のまとめを行う。
16	定番の手遊び①	あたまかたひざぽん、大きな栗の木の下で、などの定番の歌を、実際に子どもたちに教え、みんなで楽しむ ための伝え方を学び、実際に実演してみる
17	定番の手遊び②	たまごのうた、いっちょうめのウルトラマンなどの定番の歌を、実際に子どもたちに教え、みんなで楽しむ ための伝え方を学び、実際に実演してみる
18	季節の手遊び①	ちっちゃないちご、ことりのうたなど、季節や行事で使用する歌を学び、子どもに伝え一緒に楽しむことができる力 を身に付ける。
19	季節の手遊び②	やきいもグーチーパー、おしょうがつのもちつきなど、季節や行事で使用する歌を学び、子どもに伝え一緒に楽しむ ことができる力を身に付ける。
20	ゲームあそび①	かごめかごめ、ずいずいずっころばしなどゲームあそびうたを覚え、子どもたちと楽しむことができるよう、伝え方や 技術を学ぶ。
21	ゲームあそび②	ことしのぼたん、たけのこいっぽんなどゲームあそびうたを覚え、子どもたちと楽しむことができるよう、伝え方や 技術を学ぶ。
22	ダンス	アブラハムの子などのダンス歌を覚え、子どもたちへの伝え方や楽しみ方を学ぶ。
23	手袋シアター制作①	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
24	手袋シアター制作②	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
25	手袋シアター制作③	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
26	手袋シアター制作④	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
27	手袋シアター制作⑤	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。

28	手袋シアター発表①	手袋シアター+手遊び発表を行う。 子どもたちの前で行うことを想定して発表する。
29	手袋シアター発表②	手袋シアター+手遊び発表を行う。 子どもたちの前で行うことを想定して発表する。
30	総まとめ	発表の振り返りと総まとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	実習対策ⅠA		
必修選択	選択	（学則表記）	実習対策ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド		出版社	わかば社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育者になるための知識と実習に向けての技術を身に付ける。		
到達目標	実習の種類と目的を理解することができる。 子ども目線で実習に必要なグッズを作ることができる。		
評価基準	提出物・指導案・実習グッズ：40％　授業態度：40％　小テスト：20％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	実習対策ⅠB/実習対策ⅡA・ⅡB/実習対策ⅢA・ⅢB		
備考	原則、対面授業形式で実施する		
担当教員	片渕　祐海	実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・授業目的と到達目標について ・国家資格取得のための実習単位と実習期間について
2	【実習の基本】 実習の種類と目的	・実習の目標と心構えについて ・実習の目的と得られる経験について
3	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	・幼稚園、保育園、認定こども園の違いについて ・幼稚園、保育園の１日の流れについて
4	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	
5	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	・幼稚園教諭と保育士の仕事について ・子どものいない時間の業務等、子どもとの関わり以外の保育の仕事について

6	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	・未来の先生プロジェクトで体験する保育施設について
7	【修得確認】実習の基本 実習グッズ作成の予告	・修得確認 ・フエルトネームについて
8	【実習の準備】 実習グッズの作成①	・フエルトネームの作成
9	【実習の準備】 実習グッズの作成①	・フエルトネームの作成 ・フエルトや刺しゅう糸など必要な道具と縫い方について
10	【実習の準備】 実習グッズの作成①	・園によるフエルトネームの扱いの違いについて ・型紙の作成と縫う順番について
11	【実習の準備】 実習オリエンテーション	・１年次体験実習の概要について ・実習オリエンテーションの内容や電話かけのマナーについて
12	【実習の準備】 実習オリエンテーション	・園への訪問のマナーとリクルートスタイルについて ・実習オリエンテーションでの確認事項について
13	【実習の準備】 実習生の在り方	・認められる実習生になるための心構えについて ・１日の実習生の動き、子どもとの関わり方について
14	【実習の準備】 実習グッズの作成②	・ペープサートの作成方法について
15	【実習の準備】 実習グッズの作成②	・ペープサートの作成 ・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	実習対策ⅠB		
必修選択	選択	（学則表記）	実習対策ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド		出版社	わかば社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育者になるための知識と実習に向けての技術を身に付ける。		
到達目標	指導案を作成の理解し実践することができる。 実習生に必要な「話す、動く、書く」ことを積極的に実践できる。		
評価基準	提出物・指導案・実習グッズ：40％　授業態度：40％　小テスト：20％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	実習対策ⅠA/実習対策ⅡA、ⅡB/実習対策ⅢA、ⅢB		
備考	原則、対面授業形式で実施する		
担当教員	片渕　祐海	実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	【オリエンテーション】 【実習の振り返り】	・授業の受け方等について ・体験実習の振り返りについて
2	【保育の実際】 絵本の読み聞かせ	・絵本の選び方について
3	【保育の実際】 絵本の読み聞かせ	・絵本の読み聞かせの方法について

4	【保育の実際】 絵本の指導案	・絵本の読み聞かせの指導案について ・指導案の作成
5	【保育の実際】 絵本の指導案	
6	【保育の実際】 絵本の指導案	
7	【次年度の実習に向けて】 実習先の選び方	・実習先の選び方と決定までの流れについて ・実習希望調査用紙の書き方について
8	【次年度の実習に向けて】 実習先の選び方	
9	【次年度の実習に向けて】 実習先の選び方	
10	【保育の実際】 保育用語	・保育現場で必要な用語について
11	【修得確認】保育の実際 実習選考	・修得確認 ・実習選考について
12	【次年度の実習に向けて】 実習選考	・面接練習の実践
13	【保育の実際】 エプロンシアターの指導案	・エプロンシアターの指導案の書き方について ・絵本の指導案との違いについて ・エプロンシアターの演じ方と留意点について
14	【保育の実際】 エプロンシアターの指導案	
15	【次年度の実習に向けて】 まとめ	・２年次の実習までのスケジュールについて ・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ペン字A		
必修選択	選択	（学則表記）	ペン字A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	・3級合格のポイント ・あなたも書き文字美人にきれいな文字の書き方 ・心		出版社	・日本習字普及協会 ・二玄社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	字に関する、きれいに書く技術・知識を身に付ける。		
到達目標	・基本的なビジネス文書（メモなど）を読みやすく書くことができる。 ・正しく書くための、書体等の知識を説明できるようになる。		
評価基準	テスト（小テスト含む）60％・提出物30％・授業態度10％		
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	・硬筆書写技能検定　3級		
関連科目	実習対策ＩA		
備考			
担当教員	堺　香奈子	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	授業についての説明	ペン字の授業の必要性重要性・授業の進め方、 評価方法・検定について
2	ひらがな	ひらがなの特徴・練習
3	カタカナ、数字、アルファベット	カタカナ・数字・アルファベットの特徴・練習
4	漢字の基本①	楷書　単体文字のポイント説明・練習
5	漢字の基本②	楷書　複合文字のポイント説明・練習 検定問題第2・４問について

6	横書きの文章練習	横書き文章の書き方・文字の大きさ・中心の取り方
7	漢字の基本③	行書　単体文字のポイント説明・練習
8	漢字の基本④	行書　複合文字のポイント説明・練習 検定問題第2・3問について
9	縦書きの文章練習	縦書き文章の書き方（漢字とひらがなの調和）・文字の大きさ・中心の取り方
10	縦書きの文章練習	練習問題
11	はがきの表書き　練習	検定問題問5に関して書き方説明(レイアウトの確認)、練習
12	はがきの表書き	練習問題
13	テスト	ここまでの学習範囲の中から総合的にテストを実施
14	ポスターの書き方	検定問題問6に関して書き方説明(レイアウトの確認)、練習
15	ポスター	練習問題

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ペン字B		
必修選択	選択	（学則表記）	ペン字B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	・3級合格のポイント ・あなたも書き文字美人にきれいな文字の書き方 ・心		出版社	・日本習字普及協会 ・二玄社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	字に関する、きれいに書く技術・知識を身に付ける。		
到達目標	・履歴書を誤字脱字なく、読みやすく書くことができる。 ・正しく書くための、書体等の知識を説明できるようになる。		
評価基準	テスト（小テスト含む）60％・提出物30％・授業態度10％		
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	・硬筆書写技能検定　3級		
関連科目	実習対策ＩB		
備考			
担当教員	堺　香奈子	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	主な部首の名称	漢字の部分と名称を確認、小テスト
2	筆順	正しい筆順の確認、小テスト
3	検定過去問練習	検定過去問題 検定問題第1問(速書き)について
4	検定過去問練習	検定過去問題

5	検定過去問練習	検定過去問題
6	検定過去問練習	検定過去問題
7	検定答え合わせ	・検定答え合わせ ・検定対策、自己学習や取り組みについての振り返り
8	年賀状の書き方 手紙の書き方	年賀状、手紙のポイント説明、練習 ・心を込めて文字を書くことについて話し合う ・年賀状、手紙を書く場面のシュミレーション
9	地名の練習	都道府県、県庁所在地名などの小テスト
10	履歴書の書き方①	・履歴書の書き方について ・就職するにあたって必要になる書類の文字の練習
11	履歴書の書き方②	・就職するにあたって必要になる書類の文字の練習 ・履歴書の与える印象について考える
12	テスト	・後期のまとめテストを実施する ・自分の書く字がどう変わったか自分自身で確認する
13	実習日誌・連絡帳の書き方①	・実習日誌、連絡帳のバランスのとり方 ・記入時の注意点
14	実習日誌・連絡帳の書き方②	実習日誌や連絡帳でよく使う言葉の練習
15	総まとめ	授業の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	保育PCデザインA		
必修選択	選択	（学則表記）	保育PCデザインA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	教育デジタルトランスフォーメーション　基礎 情報基礎演習　保育士・栄養士のためのパソコン操作編		出版社	一粒書房	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	Word・Excelの基本操作を習得し、実際の業務に役立つスキルを身に付ける		
到達目標	簡単なビジネス文書作成や表計算の方法と基本的な情報知識を身につけ、保育現場で役立つPCスキルを習得する		
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	保育PCデザインB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	久米　優子	実務経験	○
実務内容	民間企業にて入力操作研修(OS、Word、Excel、Access)を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・概要・タッチタイピング	授業のねらい・年間の授業予定等説明 タッチタイピングの方法と必要性について
2	タッチタイピング 第2部　Office操作 Word編	タッチタイピング（繰り返し練習・ホームポジション）の練習 第3章　Wordの基本操作
3	タッチタイピング 第2部　Office操作 Word編	タッチタイピング（繰り返し練習・上段）の練習 第3章 Wordの基本操作 / 第4章 おたよりを作成しよう
4	タッチタイピング 第2部　Office操作 Word編	タッチタイピング（繰り返し練習・下段）の練習 第4章 おたよりを作成しよう / 第5章 掲示用ポスターを作成しよう
5	タッチタイピング 第2部　Office操作 Word編	タッチタイピング（仕上げ） 第6章 レポートを作成しよう / 第7章知っておくと便利な機能
6	第2部　Office操作 Word編	文書作成の総復習・確認

7	第2部　Office操作 Word編	文書作成の総復習と演習
8	テスト（Word）	文書作成問題の実施
9	第3部　Office操作 Excel編	テスト返却 第8章 Excelの基本操作
10	第3部　Office操作 Excel編	第8章 Excelの基本操作
11	第3部　Office操作 Excel編	第9章 簡単な関数を使ってみよう
12	第3部　Office操作 Excel編	第9章 簡単な関数を使ってみよう / 第10章 割合を計算するテクニック
13	第3部　Office操作 Excel編	表計算の総復習・確認
14	テスト（Excel）	表計算問題の実施
15	第3部　Office操作 Excel編	テスト返却 第11章 知っていると便利な機能

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	保育PCデザインB		
必修選択	選択	(学則表記)	保育PCデザインB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	教育デジタルトランスフォーメーション　基礎 情報基礎演習　保育士・栄養士のためのパソコン操作編		出版社	日経BP社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	Word・Excelの基本操作を習得し、実際の業務に役立つスキルを身に付ける。 PowerPointを用いた資料の作成・発表ができる
到達目標	Word、Excel、PowerPointの基本操作を学び、保育現場で用いられる資料を作成することができる
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	保育PCデザインA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	久米　優子
実務経験	○
実務内容	民間企業にて入力操作研修(OS、Word、Excel、Access)を担当。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 総復習(実技) ①	前期の振り返りと後期のオリエンテーション Word、Excelのいろいろな機能の復習
2	総復習(実技) ②	Word、Excelのいろいろな機能の復習
3	総復習(実技) ③	Word、Excelのいろいろな機能の復習
4	総復習(実技) ④	Word、Excelのいろいろな機能の復習
5	総復習(実技) ⑤	Word、Excelのいろいろな機能の復習

6	テスト	Word、Excel確認テスト実施
7	第4部 Office操作 PowerPoint編	テスト返却 第12章 PowerPointの基本操作
8	第4部 Office操作 PowerPoint編	第13章知っていると便利な機能 /第14章 知っていると便利な機能2 第15章スライドでポスター作成
9	第4部 Office操作 PowerPoint編	
10	プレゼンテーション制作①	発表の企画・準備 発表資料（PowerPoint）の作成 プレゼンテーションの練習など
11	プレゼンテーション制作②	
12	プレゼンテーション制作③	
13	プレゼンテーション制作④	
14	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション発表
15	学びの振り返り	Word、Excel、PowerPointの総復習・確認

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子どもの体のしくみA		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの体のしくみA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	ぜんぶわかる 人体解剖図		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	人の身体の構造について理解を深める。おとなと子どもの身体の違いについて正しく理解する。		
到達目標	人間の身体の概要を知り、頭部・身体・血管のしくみを理解することができる。 おとなと子どもの人体の違いを理解することができる。		
評価基準	小テスト…40％　　修得確認…40％　　授業態度…20％		
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	子どものからだのしくみB、子どもの保健A・B、子どもの医療A・B、小児医療A・B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田中　優子	実務経験	○
実務内容	九州大学医学附属病院他、看護師としての勤務経験あり。また有料老人ホームにて介護支援専門員としての経験もあり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	教科の説明 第１章・総論　からだの区分と用語	学習のねらい・目標・進め方を理解する。身体の区分について理解する。
2	第１章・総論　筋骨格系	骨・関節・筋肉の働きと構造について理解する。
3	第１章・総論　循環器系①	循環器系の概要、血管の酒類・構造について理解する。
4	第１章・総論　循環器系②	血液の成分と働き、免疫・リンパ系のしくみついて理解する。
5	第１章・　筋骨格系循環器系	復習・修得確認を受ける

6	第１章・総論　消化器系	消化吸収のしくみ、消化管の運動について理解する。
7	第１章・総論　呼吸器系	呼吸器系の概要について理解する。
8	第１章・総論　泌尿器系	泌尿生殖器の概要について理解する。
9	第１章・総論　内分泌系	内分泌系の概要について理解する。
10	第１章・総論　神経系①	中枢神経系と末梢神経系、神経伝達のしくみについて理解する。
11	第１章・総論　神経系②	脳神経、脊髄神経のしくみ、運動神経と知覚神経、自律神経について理解する。
12	第１章・総論　感覚器系	皮膚の構造・機能について理解する。
13	第１章　総論　まとめ	前期：復習・修得確認を受ける。
14	第１章　総論　まとめ	前期：復習・修得確認を受ける。
15	総括	修得確認の振り返りと総まとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	子どもの体のしくみB		
必修選択	選択	（学則表記）	子どもの体のしくみB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	ぜんぶわかる 人体解剖図		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	人体の構造について理解を深める。大人と子どものからだの違いについて正しく理解する。		
到達目標	人体のからだのしくみや構造を知り子どもの成長と発達について理解する。 現場で習得した知識を生かすことができる。		
評価基準	小テスト：40%　修得確認：40%　授業態度：20%		
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	子どものからだのしくみA、子どもの保健A・B、子どもの医療A・B、小児医療A・B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田中　優子	実務経験	○
実務内容	九州大学医学附属病院他、看護師としての勤務経験あり。また有料老人ホームにて介護支援専門員としての経験もあり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第２章　頭部・頸部①	頭部・頸部の名称、血管・筋肉について理解する。
2	第２章　頭部・頸部②	頭部の神経・リンパ、脳・小脳・脳幹の構造やしくみについて理解する。
3	第２章　頭部・頸部③	目・鼻・耳・口の構造やしくみ、平衡感覚について理解する。
4	第２章　頭部・頸部④	復習・修得確認を受ける。
5	第３章　胸部①	胸壁・胸部の内臓、肺の構造、呼吸のしくみ、ガス交換について理解する。

6	第３章　胸部②	心臓のしくみ、弁と刺激伝導系、心臓を養う血管、乳房の構造について理解する。
7	第３章　胸部③	復習・修得確認を受ける。
8	第４章　腹部・背部①	腹壁・脊柱・骨盤について理解する。
9	第４章　腹部・背部②	腹部の内臓（胃・小腸・大腸・肛門）の構造と働きについて理解する。
10	第４章　腹部・背部③	肝臓・膵臓・胆のうの働きと構造について理解する。
11	第４章　腹部・背部④	腎臓の構造や膀胱と排尿について理解する。男性・女性生殖器、受精のしくみについて理解する。
12	第５章　上肢・下肢	上肢・下肢の血管と神経、骨格と筋肉について理解する。
13	まとめ①	後期：復習・修得確認を受ける。
14	まとめ②	後期：復習・修得確認を受ける。
15	総括	修得確認の振り返りとまとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	未来デザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科、医療事務科、医療保育科 診療情報管理士科、介護福祉科	1	15
使用教材	7つの習慣Ｊテキスト、夢のスケッチブック		出版社	FCEエデュケーション（7つの習慣）	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる
評価基準	小テスト／レポート：２０％　授業態度：４０％　　提出物：４０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	なし
関連科目	キャリア支援／就職対策等
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林　大輔
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どの様な状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言霊～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ

6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
9	人生のビジョン	１０年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深堀りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第２領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	未来デザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科、医療事務科、医療保育科 診療情報管理士科、介護福祉科	1	15
使用教材	7つの習慣Ｊテキスト、夢のスケッチブック		出版社	FCEエデュケーション（7つの習慣）	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる
評価基準	小テスト／レポート：２０％　授業態度：４０％　　提出物：４０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	なし
関連科目	キャリア支援／就職対策等
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林　大輔
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
5	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ

6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
13	未来デザインプログラムの振り返り	７つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアゼミナールⅠA		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアゼミナールⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	改訂　保育学生のための基礎学力演習 学習の手引き		出版社	中央法規出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育現場で必要とされる人材となるための社会人基礎力、必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。
到達目標	保育現場で必要とされる人材となるために、1年次から就職を意識した学校生活を送ることができる。 基礎知識を身に付け、実習や行事への取り組みを意欲的に取り組むことができる。 基礎的な日本語力を身に確実に身につけ、適切な読み書きができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことが出来る。
評価基準	学習の手引きを含め提出物：20％・テスト(修得確認)：50％・授業態度：30％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	未来の先生プロジェクト/キャリアゼミナールⅠB/キャリアゼミナールⅡA、ⅡB/キャリアゼミナールⅢA、ⅢB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【オリエンテーション】 教育課程の理解 基礎学力演習	授業の流れ、基礎学力演習、到達目標について ３年間の教育課程と取り組むべき実習や行事について 国家資格取得のための併修制度について
2	【社会人の基本】 社会人基礎力の理解 基礎学力演習	社会で必要な人材について 社会人の基礎力について 基礎学力演習について
3	【社会人の基本】 社会人基礎力の理解 基礎学力演習	保育現場体験について 行事の必要性について 基礎学力演習について

4 5 6	【保育者の基本】 必要な知識 基礎学力演習	現場体験を見据え、社会人に必要な敬語や電話のかけ方について 実習日誌の記入法について 基礎学力演習について
7	【保育者の基本】 必要な知識 基礎学力演習	敬語と保育漢字のまとめ 基礎学力演習について
8 9 10	【就職を見据えた実習準備】 現場体験への準備 基礎学力演習	保育者の身だしなみ、実習現場での身だしなみについて 実習日誌の書き方について 基礎学力演習について
11	【調整】 社会人と現場体験のフォロー 基礎学力演習	社会人と保育者の基本、実習準備について 基礎学力演習について
12 13	【社会人基礎力】 社会人の基礎知識 基礎学力演習	ことわざ、割合、漢字の基本など一般教養の修得のまとめ 行事の取り組みと意味について 基礎学力演習について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアゼミナールⅠB		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアゼミナールⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	改訂　保育学生のための基礎学力演習 学習の手引き		出版社	中央法規出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育現場で必要とされる人材となるための社会人基礎力や必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。
到達目標	保育現場で必要とされる人材となるために、1年次から就職を意識した学校生活を送ることができる。 基礎知識を身に付け、実習や行事への取り組みを意欲的に取り組むことができる。 基礎的な日本語力を身に確実に身につけ、適切な読み書きができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことが出来る。
評価基準	学習の手引きを含め提出物：20％・テスト(修得確認)：50％・授業態度：30％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	未来の先生プロジェクト/キャリアゼミナールⅠA/キャリアゼミナールⅡA、ⅡB/キャリアゼミナールⅢA、ⅢB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	片渕　祐海	実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 【社会人への準備】 必要な知識 基礎学力演習	授業の流れ、到達目標について 社会人に必要な手紙、履歴書、文章の書き方について 基礎学力演習について
2		
3	【社会人への準備】 必要な知識 基礎学力演習	社会人に必要な手紙の書き方、文章の復習 封筒の種類、宛名の書き方について 基礎学力演習について

4	【社会人への準備】 必要な知識 基礎学力演習まとめ	自己ＰＲと志望動機について 自己ＰＲと志望動機の記入の仕方、内容について 基礎学力演習について
5		
6		
7	【就職を見据えた実習準備】 実習準備	次年度の実習について 実習グッズの作成の意味と目的について
8		
9		
10	【就職を見据えた実習準備】 実習準備	実習グッズの作成計画、及び作成の実践
11		
12		
13		
14	期末テスト	期末テスト実施
15	総まとめ	テスト振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	教養講座		
必修選択	選択	（学則表記）	教養講座		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	学習の手引き（おだたん人間成長講座Ⅰ）		出版社	小田原短期大学	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	芸能興行、地域の行事、美術鑑賞、読書などを通して、豊かな知性や感性あふれる人物を目指す。
到達目標	感じたこと、学んだことを手引きの中に記述できる。 芸術や文化財を選び、鑑賞することができる。
評価基準	学習の手引き（レポートテスト）：100%
認定条件	・期日までに学習の手引きを提出 ・成績評価が2以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式にて実施する。
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	小田原短期大学について1 （オンデマンド動画①）	オリエンテーション 小田原短期大学、建学の精神の理解、校歌の意味について
2	小田原短期大学について2 （オンデマンド動画②）	建学の精神、教育目標について
3	美術鑑賞1.2 （オンデマンド動画③）	美術展や画廊について
4	美術鑑賞1.2	国内外の美術鑑賞について
5		

6	美術鑑賞3 （オンデマンド動画④）	鑑賞した美術について
7 8	読書	推薦図書について
9	古典芸能（地域文化）鑑賞1.2 （オンデマンド動画⑤）	古典芸能（地域文化）について
10 11	古典芸能（地域文化）鑑賞3 鑑賞と感想	古典芸能や地域文化について
12	文化財鑑賞1.2 （オンデマンド動画⑥）	文化財について
13 14	文化財鑑賞3 鑑賞と感想	文化財鑑賞について
15	まとめ	これまでの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	未来の先生プロジェクト		
必修選択	選択	（学則表記）	未来の先生プロジェクト		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	45
使用教材	幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド		出版社	わかば社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	保育現場を体験することで、保育者のイメージを明確にする。 子どもと関わるやりがいと楽しさを実感する。
到達目標	保育者の仕事内容を理解する。 子どもと接するための事前準備を行い、実際に子どもの前で実践する経験をすることで、 子どもの前に立つ緊張感や、子どもたちと触れ合うことの楽しさを感じ、子どもの好きな歌や遊びを知る。
評価基準	提出物：50％　授業態度：30％　保育現場評価：20％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許
関連科目	キャリアゼミナールＩA・ＩB
備考	保育現場での実習と事前事後指導を含め、50分×45回学ぶ。 現場実習の時間と日数は、地域や園の状況に合わせる。 学校指定の日誌を提出し、成績の判断材料とする。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。☒
担当教員	片渕　祐海
実務経験	○
実務内容	認定こども園にて4年間勤務経験あり。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	事前準備①	保育現場での心構えについて
2		
3		

4	事前準備②	保育技術の習得について
5		
6		
7	事前オリエンテーション	事前オリエンテーションについて
8		
9	保育施設体験：保育園	保育施設体験（保育園） ・50分×14回＝700分の体験実習を行う。 ・基本は2日間。 ・日誌を記入する。（成績評価対象） ・日誌は、保育施設ではなく学校へ提出する。 ・日誌の様式は、2～3年次実習の日誌の簡易版とし、日誌を書くことに慣れる。 ※地域や園の状況により、現場実習の時間と日数が変更になる可能性がある。 ※地域や園の状況により、長期休暇を利用してのボランティアになる可能性がある。
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23	保育施設体験振り返り	保育施設体験について復習
24		
25	次回実習への学び	次回実習について

26 27	事前オリエンテーション	事前オリエンテーションについて
28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41	保育施設体験：幼稚園	保育施設体験（幼稚園） ・50分×14回＝700時間の体験実習を行う。 ・基本は2日間。 ・日誌を記入する。（成績評価対象） ・日誌は、保育施設ではなく学校へ提出する。 ・日誌の様式は、2〜3年次実習の日誌の簡易版とし、日誌を書くことに慣れる。 ※地域や園の状況により、現場実習の時間と日数が変更になる可能性がある。 ※地域や園の状況により、長期休暇を利用してのボランティアになる可能性がある。
42 43	保育施設体験振り返り	保育施設体験について復習
44 45	保育現場体験の総まとめ	保育現場体験についてのまとめ